

五戸総合病院での地域研修を終えて

順天堂大学医学部附属浦安病院

研修医 尾田 可南

私は 2023 年 1 月 4 日より一か月間、五戸総合病院にて地域研修をさせていただきました。未だ新型コロナウイルス感染が流行する中、快く受け入れてくださいましたこと、深く感謝申し上げます。

一か月の研修で主に内科外来での診察、外科手術や病棟管理、当直業務などを担当させていただきました。特に、私の所属する研修病院では研修医が内科外来を担当できる機会はなかなかないので大変貴重な経験となりました。初めのころは患者様の方言が分からなかったりしてコミュニケーションをとるのに苦渋しておりましたが、皆様のお力添えあり少しずつ成長していくことができました。外来で患者様とお話することで、農業や気候などの地域の特徴を身近に感じることができました。

外科手術では CV ポート造設、褥瘡デブリードマン、粉瘤切除術の執刀をさせていただきました。これもまたなかなか経験できることではなく、大変勉強になりました。また、私は麻酔科志望ということもあり、術中の全身麻酔や脊椎麻酔を担当させていただくこともありました。自身が今までの研修で学んできたことをここで生かすことができ大変うれしく思いました。

他にも警察署での検案や、訪問診療、ヘリポートまでの緊急搬送など、どれも研修医 2 年目の終盤にして未経験のことをたくさん経験させていただきました。

一か月間の研修で最も印象的だったことは、やはり地域医療の抱える高齢化と医師不足の問題です。医学部の学生の時にも地域医療に関する授業や実習はありましたが、実際に一か月という期間で研修して初めてわかることばかりでした。どのような解決策があるのか、今の私にはわからないというのが現状ですが、これから医師として生きる上で責任をもって考えなければならない問題であると痛感いたしました。

指導医として支えて下さった安藤先生、後村先生からは今までのどの研修よりも多くの学びをいただいたと思っております。大変お忙しいなか、ご指導をありがとうございました。初めての青森に一人という環境で、10 年に一度の寒波にも見舞われ、正直心が折れそうな日もありましたが、やさしく話しかけて下さった医療スタッフの皆さまや、生活面で大変よくして頂きました管理班の皆さまのお力でどうにか研修を終えることができました。一か月間本当にありがとうございました。